



令和2年5月1日

新型コロナウイルスによる長野県介護福祉士会の活動対応について

公益社団法人長野県介護福祉士会
会長 柳沢 玉枝

新型コロナウイルス感染拡大に際し、介護現場の最前線で要介護者の生命と生活を護るために感染予防をしながら、現場にウイルスが入り込まないようにと懸命な対応を行っている介護福祉士をはじめとする介護職の皆様には心から敬意を表します。

介護福祉士会は皆様と連帯感を持ち経験したことのないこの状況を乗り越えていきたいと考えています。

- ① 新型コロナウイルスの感染終息のめどが立たない中で、介護福祉士会の研修をできるだけ先延ばしにして皆様に安心して受講に望んでいただけるよう検討しています。

また、会議についても書面やビデオ会議など、工夫して行うことを執行部で検討しているところです。

- ② 支部総会、定時社員総会が控えていますが、支部総会は今回は特例として資料を会員の皆様に送付しはがきによる委任状、書面評決で行います。

本会の定時社員総会は「公益社団法人は何らかの形で総会を行う」ように規定されているため、やむを得ない状況として今回は縮小して行います。従来通り全ての会員の皆様に総会資料を配布し、はがきによる委任状、書面評決で決議を行いますのでご返信をよろしくお願いいたします。

③ 現在の状況下で、「職能組織としてしなくてはならないことは何か」を執行部で検討を進めています。ご意見をお寄せください。

④ 長野県災害福祉ネットワークで、新型コロナウイルス感染症への対応について福祉各分野の横の連携を図り長野県と協力して進めていくための取り組みが動き始めました。

介護現場で起きている現状や必要だと思われる事柄を災福ネットにつなげ感染リスクの軽減や介護現場で適切な対応ができるよう働きかけていきたいと思えます。

終息が見えない中で長期化することも予測されます。皆様が心身ともに疲弊している状況もあるのではないかと察しています。大変な状況ではありますが利用者、家族、自分自身を守るために、感染経路の遮断と感染予防の徹底を図り乗り切りましょう。